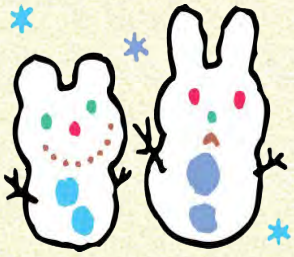
広報
社会福祉法人清豊福祉会
育ちゆく子どもの輝きを…その翼にのせて

セバスト ガチョウ号

Gosho Nursery And Children's Recreation Center



祝!!創刊200号

少しずつ少しずつ前に進む

No.200
2月号
2020

『ガチョウの進化 Ver.2.00』

私の入職当時、セバストガチョウ号の制作過程は、ざっとこうである。まず、原稿を直接手書きした藁半紙を紙面のレイアウトベースとして準備する。当該藁半紙上に、ワープロで作成した原稿や教材等から必要なイラストをコピーして切り貼りし、各ページをレイアウトする。これが原本ということになる。この原本を各ページ必要数コピーした後に手作業で折りを入れ、冊子化していくという…、気が遠くなるような工程を経ての発行だ。そもそも、これは広報誌というより、もはや一種のコラージュ作品である。それがおおよそ25年前、いわゆるセバスト黎明期である。この貧弱なガチョウは、当時の児童館スタッフを主とした編集メンバーの情熱だけに支えられ育てられていたようなものである。時折、夜鍋して育てられていたガチョウは、平成に現存した家内制手工業による瓦版であったと言っても過言ではない。

とは言え、当時の保育園、幼稚園、はたまた小学校等に至るまで、この手の広報誌はこの貧弱なガチョウと大差ない作業工程とクオリティで制作されていたのである。たしかに今読み返すと、素人が手工業で制作した誌面は貧相であるし、故に内容も乏しくみえる。しかし、これを家内制手工業で制作、発行していた先人の情熱は、今の担当者のそれと比較しても決して劣るものではないことは言うまでもない。

21世紀に入り、前園長が独占、使用していたワープロが数台のパソコンと高機能アプリケーションに駆逐され、スタッフに解放されるというIT革命が達成される。その直後、モノクロ輪転機に代わりカラープリンター機が導入された。ほぼ同時期にデジタルカメラも導入されたことにより、スタッフは写真の貼り付け作業からも解放された。それまで、最終的にはモノクロでコピーされるため、それがおそらく写真であろうことが辛うじて判別できるだけだった紙面が、笑顔溢れる子どもたちのカラー写真で埋め尽くされることになった。世界は激変したのである。世に言うセバスト草創期である。そう、セバストガチョウ号の制作は家内制機械工業に移行したのである。この時代、産業革命よろしく安易に工場制機械工業（外注）とせず、あくまで家内制とし、あえて今でも維持しているのは当法人の誇りでもある。その後、家内制機械工業の『機械』は更なる高機能化を果たし、制作工程にかかる諸々のコストは圧縮されてきた。当時、私はセバストガチョウ号17号に『ガチョウの進化』と題し、新しく生まれ変わったセバ

記念すべきセバストガチョウ号第１号

ストガチョウ号の誕生を祝いつつ、さらなる進化を誓っている。

…とまあ、創刊200号を迎えるにあたり、当時を振り返ってみました。さすがに時代区分の名称はフィクションですが、考証自体は事実です。これほど飛躍的に変革が起きた保育業務は、広報・情報発信に係る『量と質』及び登降園システム全般ぐらいでしょう。セバストガチョウ号の制作を担ってきたスタッフは、それぞれに様々な思いがあることだと思います。何しろ25年で200号ですよ!!200号!!よくある見開き2ページ(…失礼)ものとかではありませんよっ!!よくある外注(…いや綺麗ですよ、はい)でもありませんよっ!!原稿データ作成から印刷まで家内制ですよっ!!手前味噌であることは承知の上ですが、セバストガチョウ号発行の歴史と形態・ボリュームは、鹿児島の児童教育・福祉業界に限るならば、間違いなくオンリーワンであり、ナンバーワンです。これまで発行に携わってきてくれた全てのスタッフ、保護者の皆様には本当に心からの感謝と尊敬の念に堪えません。

セバストガチョウ号は『法人、スタッフの想いを伝える』に始まり、『保育の見える化』を新たな使命としてきました。誌面デザイン、専門ソフトウェア、発刊ノウハウ、全てにおいて素人である事業所のスタッフが、25年かけて、コツコツと少しずつ進化させてきたセバストガチョウ号。この200号を機に、さらにまた一歩歩みを進め、進化が必要だと考えています。

スタッフの業務軽減も一考しなければ…、うーんボリュームを減らすか…。いやいや、楽しみにしてくれている保護者や地域の方もたくさんいるし(セバストガチョウ号をずっと綴っていくれている保護者の方もいるんです!!…感激)、ただ減らすだけでは進化ではなく退化だな…。業務軽減は時代の要請…、さりとて子どもたちや保護者へのホスピタリティを落とすことなく実現したい。ましてや保育者の持つ創造性や発信力を削ぎ落とすなんてのは本末転倒。月刊ではなく、情報の即時性や速報性も大事にしたい。写真を増やしたり、たまには動画なんかも紹介したり、もっと保育を効果的に伝えたい。おじいちゃんやおばあちゃん、退所した子どもたちや保護者、卒園児たち、すべての近隣住民の方々、これから入園を考えている保護者の方々、おもちゃ図書館やこども食堂の利用者の方々にも広く情報を届けたい。……おっと、いつぞやのロゴ制作時のように暴走して…。そう言えば、あのときホームページも一緒に制作したなぁ……、そうだ!!ホームページ!!

今後、数号を経て、セバストガチョウ号はホームページでブログ化(デジタル化)していきます。アナログの紙の良さもあることは十分承知しています。お手もとに思い出として綴って下さっている保護者の方々を思うと心も痛みます。でも、また一歩前に、少しでも進化を…。

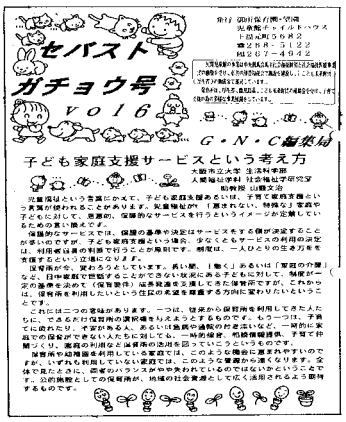
『ガチョウの進化』から19年。これからも、もっとみんなに可愛がってもらい、育てていってもらえるセバストガチョウ号にしていきます。

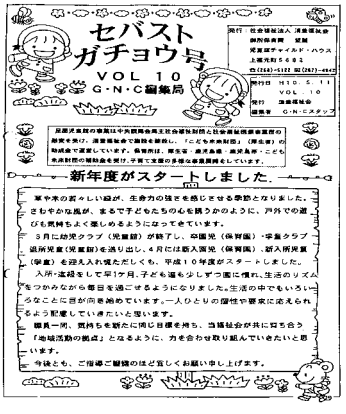
(以上、理事長　中野　兵衛)

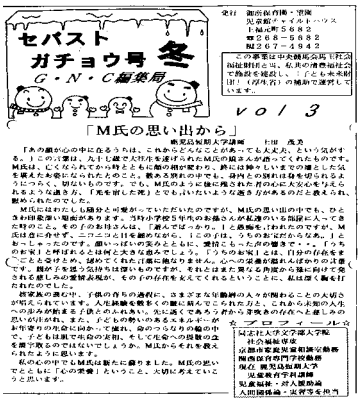
セバストガチョウ号
VOL. 15
●「あなたが未来をつくるのです」
●保育園だより
●児童館だより
●みんなのコーナー
●指文字コーナー
●トピックス
●インフォメーション

G・N・C編集局
セバストガチョウ号
VOL.9
謹んで新年のお慶びを申し上げます。
平成10年吉日

セバストガチョウ号秋
G・N・C編集局
Vol. 2


セバストガチョウ号
VOL 16
G・N・C編集局
子ども家庭支援サービスという考え方


セバストガチョウ号
VOL 10
G・N・C編集局
新年度がスタートしました。


セバストガチョウ号冬
G・N・C編集局
Vol 3
「M氏の思い出から」

セバストガチョウ号
Vol.7
G・N・C編集局

セバストガチョウ号
VOL. 12

セバストガチョウ号
Vol 5
総合的子育てセンターを目指して

セバストガチョウ号

セバストガチョウ号
VOL. 14
1999
秋季号

G・N・C編集局
セバストガチョウ号
VOL. 8
家族の心理学
VOL 4

広報
セバストガチョウ号
先月の子どもたち
こどもわくわく
フェスティバル
1月号
2006

セバストガチョウ号
Vol.26
春☆号

セバストガチョウ号
Vol.27
夏☆号
ぞう組（年長児）夏まつり

広報
セバストガチョウ号
先月の子どもたち
南方神社参詣
社会科見学
2月号
2006

セバストガチョウ号
9月号

セバストガチョウ号
vol.18

広報
セバストガチョウ号
先月の子どもたち
生活発表会
3月号
2006

セバストガチョウ号
10月号

セバストガチョウ号
Vol.20

広報
セバストガチョウ号
先月の子どもたち
第三十回卒園式
ひな祭り会
4月号
2006

セバストガチョウ号
11月号

セバストガチョウ号
Vol.22

こども園便り　御所・風の子こども園

いらっしゃいませ

子どもたちの「いらっしゃいませ」の合図でマクドナルド、帽子、お花屋さんなどの六店舗が開店しました。活動の中で製作した商品の売り買いは、貴重な経験に繋がったようです。最近はお金ではなくキャッシュレス…（笑）。お店やさんのあり方も変化しています。

東　久志さん

子どもたちに大人気の東さんから美味しいポンカンを頂きました。お米やジャガイモ作りでもお世話になっています。

柿元　幸夫さん

近所に住んでいる柿元さんから正月飾りに欠かせない鏡餅のもち米を頂きました。毎年、ありがとうございます。

いつもありがとうございます

実習生の受け入れ

当園では、保育士養成校等の学生を受け入れています。左記の日程で保育実習を予定していますので、ご周知ください。

・二月六日（木）～二十日（木）
…鹿児島国際大学　高山さん

（以上、主幹教諭　下窪）

給食便り

『大豆』は畑のお肉！

大豆は良質なたんぱく質が豊富で、様々な大豆食品に調理加工され、消化吸収がよい食品です。動物性のタンパク質に負けないほどアミノ酸を多く含み、脳の活性に良いと言われています。

大豆の効能・効果

○からだを温める
○脳の活性化
○糖を燃焼する（ダイエット効果）
○繊維質が多い（整腸作用・便秘予防）
○骨粗しょう症予防
○成長の促進

新入職員、紹介

上野　みどり（調理員）

みんなが楽しく食事が出来るように、食事提供に心がけています。よろしくお願いします。

（以上、栄養士　和田）

安全便り

やけどに気をつけよう

一年の中で一番寒い季節になり、子どもの事故でやけどが多くなってきます。子どもは好奇心旺盛なので、アイロンや調理器具を触ってやけどをすることがあります。やけどを予防するために、家庭で子どもと『触ると熱いもの』を確認しておきましょう。

最近ではエアコン、ファンヒーター、電磁調理器など、見た目では熱いかどうかわかりにくいものもあるので注意が必要です。

やけどをしてしまったらすぐに流水などで冷やし、痛みが治まってから皮膚科を受診しましょう。

健康便り

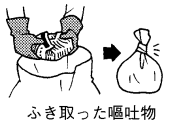
嘔吐物、下痢便の処理について

冬は感染性胃腸炎にかかる人が増えます。嘔吐物、下痢便には多量のウイルスが含まれています。広範囲に飛散するので周囲の壁や床だけではなく、足元や衣服まで汚染されてしまいます。処理中とその後はしっかり換気をすることが大切です。処理が不十分なまま乾燥させてしまうと細かな粉塵となり、気流に乗って汚染が広がる可能性があります。嘔吐物、下痢便を適切かつ迅速に処理することで、家庭内の感染を防止しましょう。

嘔吐物の処理は適切に！

※消毒液のつくり方　嘔吐物処理の場合：500mL のペットボトル１本の水に原液（次亜塩素酸ナトリウム）10mL（ペットボトルのキャップ２杯）。

嘔吐物に新聞紙をかぶせて、上から消毒液をかける。



ふき取った嘔吐物と新聞紙をビニール袋に入れて密封する。

汚染場所とその周辺を消毒液でふき、消毒をする。

●注意点

使用済みの使い捨てエプロンやマスク、手袋は袋に密封して処分する。また、最後に手洗いを十分に行う。

監修：順天堂大学医学部小児科学講座 准教授　工藤孝広先生

（以上、看護師　兼廣）

ホッと!!スナップコーナー

ながた　さきさん

ハサミを慎重に使って作っていました。

今月のテーマ
『雪だるま』

ハサミやのり、クレヨンなどを使って雪だるまを作りました。お腹の部分は、切り紙製作。ハサミの扱い方も上手になり、それぞれ素敵な模様ができました。　（稲留）

かたおか　みつきさん

どうやって切るか考えながら、製作に取り組みました。

よしまつ　えいじくん

切り紙を見て「星みたい」と嬉しそうでした。

まとの　えみりさん

キレイなひし形がたくさんできました。

ゆのくち　そらはくん

三角模様が特徴的な雪だるまができました。

はせがわ　ゆいさん

「見て」と、切り紙を嬉しそうに見せてくれました。

どうはら　よしきくん

かわいいハートの模様ができました。

ひきた　りんさん

切った折り紙を広げて「キレイ」と嬉しそうでした。

たにがしら　はるさん

大好きな緑色をたくさん使って可愛く仕上げました。

おおぞの　そうくん

大きな目が魅力的な雪だるまができました。

児童クラブ便り　児童クラブ未来

全国的にインフルエンザやプール熱が流行し、体調を崩しやすい時期ではありますが、児童クラブの子どもたちは元気いっぱいです。冬休みからコマに夢中で紐の巻き方や投げ方など、上級生が下級生の手を取って教える微笑ましい姿が見られます。こうして色々なことが伝承されるのだ、ということを実感する毎日です。

羽根つき

福笑い

クリーン作戦

ベーゴマ

言葉で育つ

「先生、昨日は超嬉しいことが二つもあったんだよ」。来所するなりニコニコ顔で報告してくれる女児がいました。「一つ目はね、帰る時に先生が、目を閉じて一分経ったと思ったら手を挙げなさいと言われて、私が手を挙げたら、ピッタリ一分だったんだよ。超ラッキーでしょう」、「もう一つはね、お母さんが迎えに来た時に逆上がりをしたの。そうしたら、お母さんが見てる目の前で成功したの。すごいでしょう。超ラッキーなことが二個も続いてあったんだよ」。満面の笑みを浮かべ声を弾ませた女児は、満足気に席に着き、すぐさま宿題を始めました。ほんの些細な事柄に思えるようなことも、子どもには翌日まで残るほどの感動だということが、驚きでした。

また別の日には、「先生、学校でコマの本を借りてきたよ」と四年生の男児。冬休みのお正月遊び以降、児童クラブではコマ回しが流行っています。わずかな時間を見つけては勝負をしたり、時には大人に教えを乞うたりしながら、みんなで熱心に取り組んでいます。そんな中で、これまでとは違う技を習得するために、男児が図書室で本を借りてきて次々に新しい技に挑戦しています。それは誰に言われたのでもなく、子ども自身が自発的にやっていることです。

人を動かすのは内なる声と言われますが、できたという喜び、そしてそれを認め賞賛してくれる周りの人の言葉がモチベーションになるということを、また子どもたちに教えられました。

（以上、クラブ長　髙﨑）

学童新聞

今年はうるう年だ～！

●うるう年ってなーに？

一年は三六五日。これは地球が太陽のまわりを一周する日数です。でも、実際は六時間ほど足りません。そのため四年経つと六時間×四＝二四時間。つまり約一日分足りなくなります。そこで四年に一度日数を増やして調整することにし、その年をうるう年というのです。今年は、一日増えて三六六日です。

そこで・・・

●「一日」をプレゼントされたら何をする？

一位・・自分の好きな事をする。（ゲーム、つり、サッカーなど）

二位・・家族で旅行に行く。

クラブのみんなは「本当にもらえるの？」とワクワクしながら答えてくれました。みなさんは、何をしたいですか？

●今年の目標

一年
- 学しゅうをいっぱいする（ゆい）
- 毎日なわとびを九十回とぶ（はるき）（かなた）

二年
- そうじをがんばる（けいすけ）
- 三じゅうとびが二回できるようになりたい（ことは）

三年
- 空手の大会で優勝する（そら）
- メルヘンで進級をする（とらじ）

四・五年
- 学習の予習やふく習を心がける（りさ）
- 自律・自立心を育てる（いちか）

●児童クラブ未来の目標

- 正しい言葉で話す
- 人の話を聞く
- 使った物は片付ける

♥自分の目標を達成できるようにがんばりましょう。また、クラブの目標は、みんなで協力しながらがんばりましょう。

クイズ これなーに？

♥プレイルームにある物の一部です。わかるかな？答えは三月号でお楽しみに！

※一月号の答え：ストラックアウト

記者　福田一叶・永長李彩・長野日南

親が笑うだけで、かしこく優しい子に！

親コラム

やることが多く忙しい毎日、時には「早くしなさい」、「どうしてできないの？」と、つい怖い顔をしてしまうこともあるかもしれません。でも、親の表情、笑顔が子どもの成長に大きく影響するとなればどうしますか。

自分でやる力～自主性とチャレンジする勇気が育つ～

どのような結果になっても、親が笑顔で受け止めてくれることがわかっているので、失敗を恐れません。積極的にやってみようという意欲が自然と湧いてきて、挑戦して得た経験が生きていく糧になります。

続ける力～最後までやり遂げられるようになる～

心配しすぎる親は、「そんなやり方だめ」などと手や口を出しがち。子どもが自分の力でやり続け、やり遂げる達成感を奪ってしまいます。こうした親のもとで育った子どもは、発想力に乏しく、少しひねった問題が解けないことが多いのです。

楽しむ力～自分の好きなことに没頭できる～

ある一流アスリートの親は、試合結果は聞かずに満足いくプレーができたか、楽しめたかを聞くそうです。そのようにゆったりとした気持ちで構えていれば、子どもは『うまくやらないと』『失敗したら怒られる』というプレッシャーを感じずに済みます。何事にも楽しみながら取り組むことができるのです。また、人の失敗に対しても寛容な気持ちを持てるようになり、相手を思いやる気持ちも育ちます。

著者　陰山ラボ代表　教育クリエイター　陰山英男

怒ってばかりの親

怒った顔ばかり見ている子どもは、海馬が小さくなるため、記憶力が落ち学習能力が低下します。そして、人を怖い存在と認識してしまい、コミュニケーション能力が育ちません。怒った顔を見ると、自分は否定されていると受け止めて、自己肯定感を持てなくなります。

いつも笑っている親

笑っている親を見ると、幸せホルモンが分泌され、脳がリラックスして血流がアップします。その結果、集中力や思考力、記憶力や学習能力が高まります。また、ストレスに強いと言われています。そして、人と関わることが楽しくなるので、コミュニケーション能力がアップし、自己肯定感も高まります。

著者　T&R セルフイメージデザイン LCC 代表取締役　西剛志
（以上、環境向上グループ）

株式会社　PHP 研究所発行　PHP のびのび子育て　2020 年 1 月号より抜粋

Gosho Baby News

このページは、御所風の子ども園や御所季の子保育園の０，１歳児の子どもたちの様子やお知らせ、そして子育てに関する様々な情報をお届けするコーナーです！

子どもの興味・好奇心を大切に

子どもの自我が芽生えてくると、興味の幅も広がっていき、少しずつ自分の力で外の世界へ歩き出そうとする時期に入ります。
例えば子どもが絵を描き出したときに、傍らで一緒に同じ遊びをして楽しむことは子どもの興味を広げたり、好奇心を育んだりする大切な関わりとなります。ここでは、親子で一緒に楽しめる手作りおもちゃを紹介します。

ゆらゆらだるま

①画用紙をだるまさんの形に切る
②絵の具で塗る
③だるまさんの顔を貼る
④目と体の線をクレヨンで書く
⑤紙皿を半分に折り、片面にだるまさんを貼る

だるまの色によって願い事が違います。色々な色のだるまを作ってみましょう。

紙皿の端を押してだるまをゆらします。

風船だこ

①風船を膨らます
②紙やスズランテープを使って足をつける
③風船の先にたこ糸をつける
※風船に自由にお絵かきをして、オリジナルのたこを作りましょう

風船で簡単なたこができました。たことお散歩しているみたいです。

風を感じながら、親子で一緒に遊びましょう。

親や保育園が子どもにしてあげられることは、機会や場所を提供することです。子どもの興味や好奇心を育めるように、自然から感じられる事象や、昔からの風習や伝統、四季折々の行事を通して、たくさんの機会を提供できるようにしたいですね。

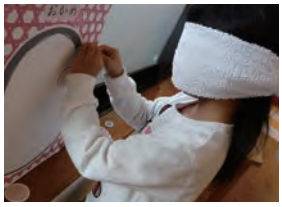
（以上、保育士　諸隈）

保育園便り　御所季の子保育園

暦の上ではもうすぐ立春とはいえ、一年で一番寒い時期になりました。子どもたちは園庭で遊んだり、散歩に出かけたりなど元気よく遊んでいます。寒さの中で、小さな春の訪れを見つけられるのも今月の楽しみです。そして、もう一つの楽しみが発表会です。一年の活動を通して、子どもたちの成長を発表する機会です。子どもたちも期待に胸を膨らましながら練習に取り組んでいます。楽しみにしていてください。

正月あそび

正月あそびといえば『こま、凧揚げ、福笑い』。今回子どもたちと福笑いを行いました。目隠しをして実際にやってみると、個性あふれる顔の完成に大笑いでした。



もちつき大会　（十二月二十八日）

もちつき大会では、たくさんのおじいちゃん、おばあちゃんのご参加ありがとうございました。杵をもって餅を元気よくつく姿に子どもたちもとても楽しそうでした。

健康便り

寒い時期は『湯冷め』に注意

お風呂に入って温まった後に急に体が冷えて、寒気、鼻水やくしゃみなど、体の調子が悪くなることを『湯冷め』と言います。今回は、湯冷めを防ぐポイントを紹介します。

・水分をしっかり拭き取る
・バスタオルや肌着は、浴室からすぐ手の届く場所に置く
・髪の毛はドライヤーなどで素早く乾かす
・お風呂で体が温まったからと油断しない

（以上、主任　永田）

給食便り

食育活動「豆腐・味噌汁作り」

（一月十五日、十六日）

三～五歳児クラスで、豆腐を作り、翌日、その豆腐を入れた味噌汁を作りました。

出汁に使用するいりこが「くさい」と言っていましたが、煮出した湯気の香りを嗅ぎ「いいにおいになった」とビックリ！いつもの味噌汁より「美味しい」と完食してくれました。

豆腐作り

一…大豆をミキサーにかける

二…大豆の汁をとる

三…汁のみ容器にいれる

四…できあがり

（以上、調理員　田畑）

ホッと！スナップコーナー

G.K.M編集局

Gは御所のG。Kは風の子のK。Mは季の子、未来のM。ここでは、各施設に関する様々な情報をお送りいたします。

Bambini 移動おもちゃ図書館Bambini

『移動おもちゃ図書館バンビーニ』は月１回、公園や福祉館などで活動しています。木製の玩具が大半で、自然な温もりと音色に子どもたちはもちろん、お父さんお母さんも興味津々。大人も楽しみながら、子どもと一緒に遊べる環境です。

人は、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚の五感を使い、生活しています。『視て触って、聞いて感じる』大切な感覚ですよね。子育て支援施設は充実してきていますが、ポスターを見て遊びにきてくださる親子やサークルの方の笑顔は嬉しい限りです。

平成 20 年に始めたこの自主事業も令和の時代に突入しました。これからもあちこちの公園や福祉館で『楽しい』と思っていただける子育てサポートを進めます。

この「オレンジの旗」が目印です！

ままごと遊び♫
赤ちゃんかわいいでしょ！

【次回のバンビーニ】
日にち：２月 28 日（金）
時間：10 時～ 12 時
場所：西谷山福祉館
※たくさんのご参加をお待ちしています。
※来年度以降の活動は、ホームページや谷山支所福祉課、南部保健センターなどでお知らせします。

コロコロスロープ♫
ビー玉の音色が綺麗ですよ！楽器遊びも楽しいよ！

（以上、保育向上グループ）

編集後記

園庭の梅や椿の蕾が膨らみ、春の訪れを感じます。

オリンピックイヤーを迎え、子どもたちの間でもスポーツの話題が出てくるようになりました。「オリンピック観戦のチケットを手に入れた」と言う声も聞こえてきますが、残念ながら、私はハズレてしまいました。未知なる能力を秘めた子どもたちと一緒に、児童クラブで応援しようと思います。

これから子どもたちが色々な経験を経て、どんな花を咲かせるのか楽しみです。未来のオリンピック選手も近くにいるかもしれませんね。

（大山）

セバストガチョウ号　2020 年 2 月 1 日発行
〒 891-0116　鹿児島市上福元町 5682 番地　御所こども園　TEL:099- 268 - 5122　e-mail:info-gosho@seihoufukushikai.jp　HP:https://seihoufukushikai.jp
発行人・編集／社会福祉法人清豊福祉会広報グループ　　印刷／御所こども園　　12 月 21 日～ 1 月 20 日の記事を掲載しています。